

平成 24 年度後期全学教育機構「学生による授業改善アンケート」の結果

評価分析室全学教育機構分室

全学教育機構では、平成 24 年度後期に中間アンケートを行い、学生の要望を確認し、後半の授業が行われた。本結果は、期末に実施されたものによる。

平成 24 年度後期期末「学生による授業改善アンケート」は、以下の 2 とおりの方法により実施された。

- a. 全学教育機構の各教員が少なくとも 1 授業題目について授業中に用紙に記入する。
- b. 全授業題目を対象としてウェブ上で記入する。

アンケートの質問項目は、用紙・ウェブともに以下のとおりである。

<アンケート質問項目>

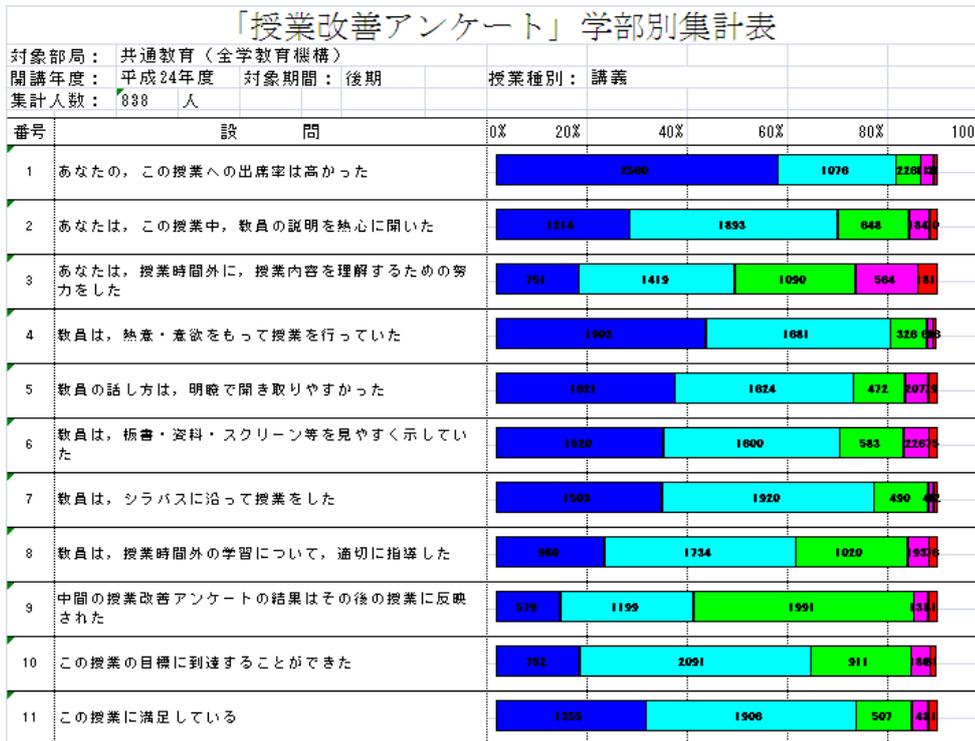
1. あなたの、この授業への出席率は高かった(5択)
2. あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた(5択)
3. あなたは、この授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした(予習・復習等)(5択)
4. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた(5択)
5. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった(5択)
6. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた(5択)
7. 教員は、シラバスに沿って授業をした(5択)
8. 教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した(シラバスでの参考文献の提示等)(5択)
9. 中間の授業改善アンケートの結果はその後の授業に反映された(5択)
10. この授業の目標に到達することができた(5択)
11. この授業に満足している(5択)
12. この授業について、改善すべきと思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
13. この授業について、教員が工夫をしていると思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
14. その他、この授業について、意見、要望等がありましたら、書いてください(自由記述)

アンケートの結果は、部門長および評価分析室機構分室員が内容について検討・解析した。以下に回答について、科目群ごとにその結果を報告する。(用紙を使ったアンケートの結果についても、ウェブに取込みして集計されている。)

1. 全体に関する結果

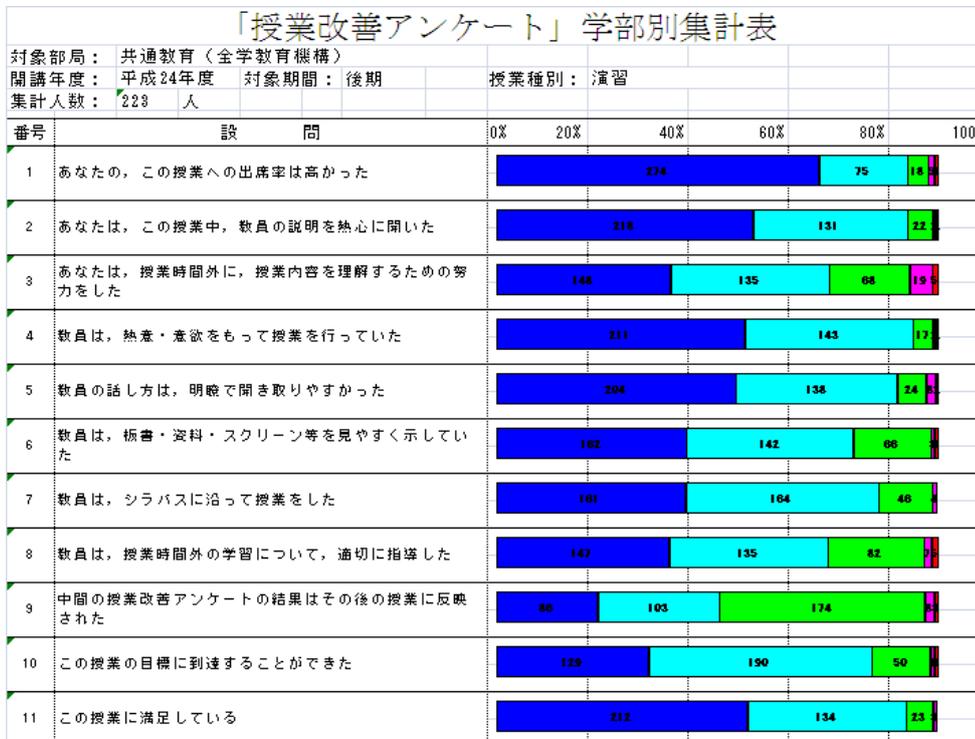
講義科目、演習科目、外国語科目、実験実習科目の回答者数はそれぞれ、4026、376、1903、71 であり、その集計結果は図 1～図 4 の通りである。出席率への問①(アンケート質問項目の統一を図るために、質問項目を○番号で表す。)に対する回答では、全科目において 4 以上であり、前期の調査結果と同様、授業に出席するという大学教育の基本形態が尊重されている。

図1【講義科目】



青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図2【演習科目】



青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図3【外国語科目】

「授業改善アンケート」学部別集計表

対象部局： 共通教育（全学教育機構）		開講年度： 平成24年度		対象期間： 後期		授業種別： 外国語	
集計人数： 1064 人							
番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	あなたの、この授業への出席率は高かった						
2	あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた						
3	あなたは、授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした						
4	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた						
5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった						
6	教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた						
7	教員は、シラバスに沿って授業をした						
8	教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した						
9	中間の授業改善アンケートの結果はその後の授業に反映された						
10	この授業の目標に到達することができた						
11	この授業に満足している						

青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図4【実験・実習】

「授業改善アンケート」学部別集計表

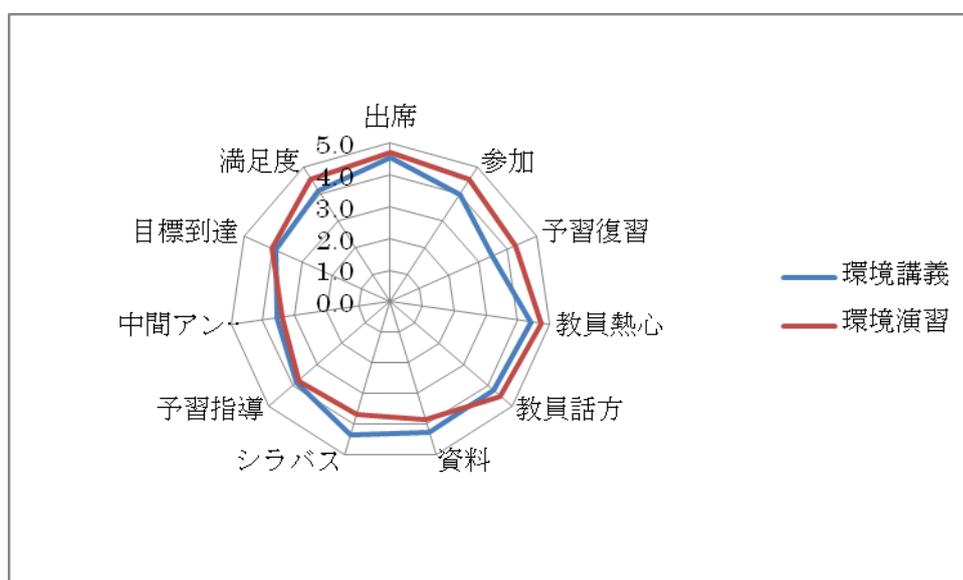
対象部局： 共通教育（全学教育機構）		開講年度： 平成24年度		対象期間： 後期		授業種別： 実験・実習	
集計人数： 65 人							
番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	あなたの、この授業への出席率は高かった						
2	あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた						
3	あなたは、授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした						
4	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた						
5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった						
6	教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた						
7	教員は、シラバスに沿って授業をした						
8	教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した						
9	中間の授業改善アンケートの結果はその後の授業に反映された						
10	この授業の目標に到達することができた						
11	この授業に満足している						

青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

2. 教養科目

[環境科目群]

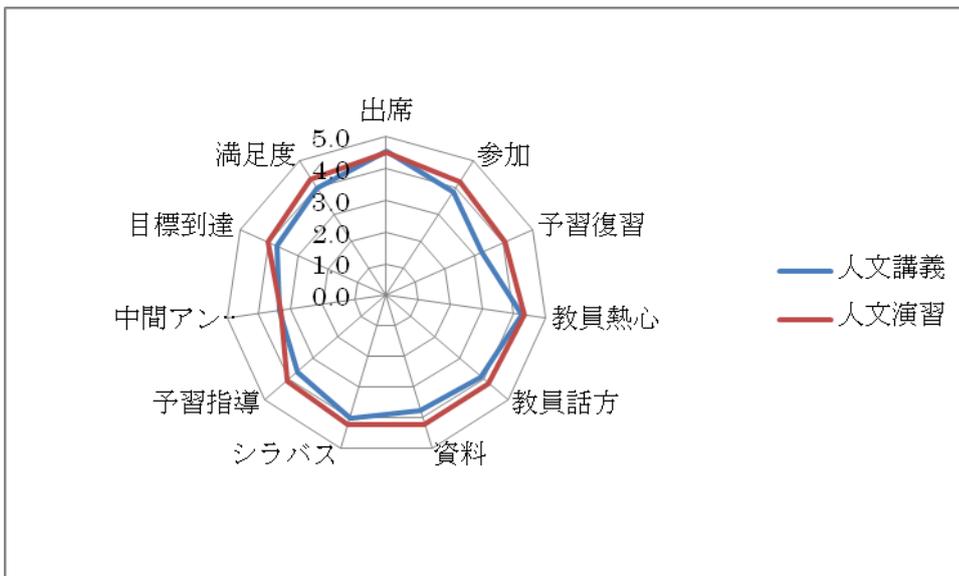
環境科目群では、演習科目の評価項目のうち、学生の出席①や熱心な参加②などの学生自身に対する評価、および教員の熱心な指導④に関する評価ポイントが高く、結果として満足度⑩に関するポイントが平均 4.6 という高い結果につながっている。前期の集計結果では、演習科目のすべての項目のポイントが講義ポイントを上回っていたが、後期では資料提示⑥やシラバス⑦などの項目で講義科目のポイントが高い結果となった。同一の授業間での比較ではないが、前期と比較すると、講義科目において教員による予習指導⑧、シラバスに沿った授業展開⑦、板書や資料準備⑥などの点についてのポイントが高くなっている。とくに講義科目の数値の向上が見られることから、教員の熱心な授業への取り組みがうかがえる。中間アンケートがその後に生かされたかという項目⑨のポイントが低いのが、これについては考察が必要である。なお、演習科目については回答者数が少ないため(18名)、解釈には注意を要する。



[人文科目群]

演習科目については、2012年度後期中間の集計結果と比較すると、出席①を除くすべての項目で、数値上の改善が確認できる。ただし、2012年度前期末の集計結果と比較すると、相対的には、予習復習③、資料⑥、シラバス⑦、予習復習指導⑧の項目では、数値上の改善が確認できるが、その他の項目では、数値の後退が見受けられる。(この点、アンケート回答率に前期と後期で大きな格差が見受けられる点には留意が必要である。)なお、絶対的数値としては、中間アンケート反映項目⑨を除けば、すべての項目で4.0以上の数値がでており、少人数教育の良好な成果が確認できる。これら数値が改善した項目に関しては、各教員の授業改善にむけた真摯な努力の結果と推察される。

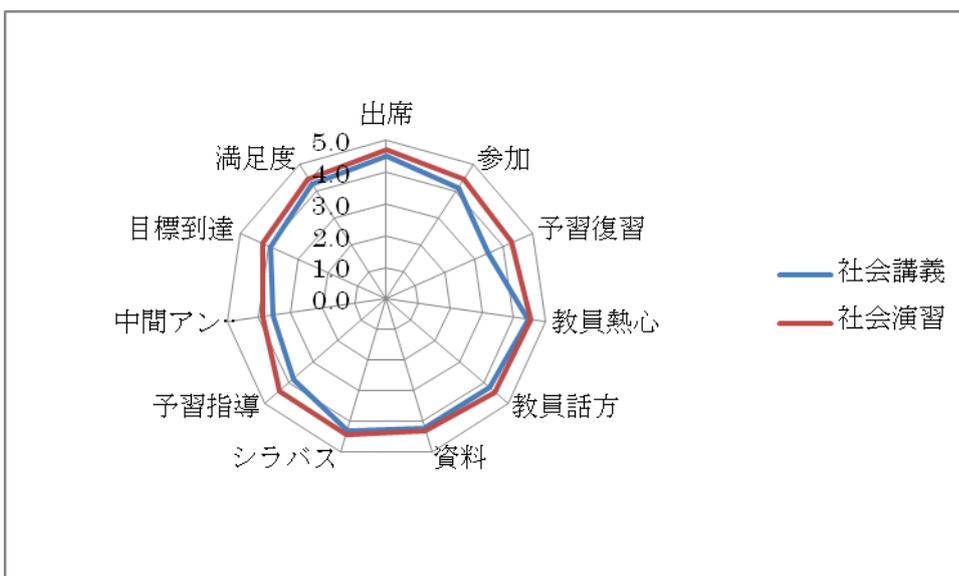
他方で、講義科目では、後期中間の集計結果と比較すると、出席①、参加意欲②、資料⑥、シラバス⑦、予習復習指導⑧の項目で、数値上の後退が見受けられ、さらなる学生の学習意欲向上に向けた改善努力が期待される。もっとも、前期の集計結果と比較すると、ほとんど同様の数値傾向が見て取れる。多人数の講義形式では、全体として集計結果の数値が相対化される傾向は否めないが、ただし、予習復習③の数値が極めて低調である点は看過しえない。今後、学生の時間外学習量の確保に向けた取組が要請されよう。



[社会科目群]

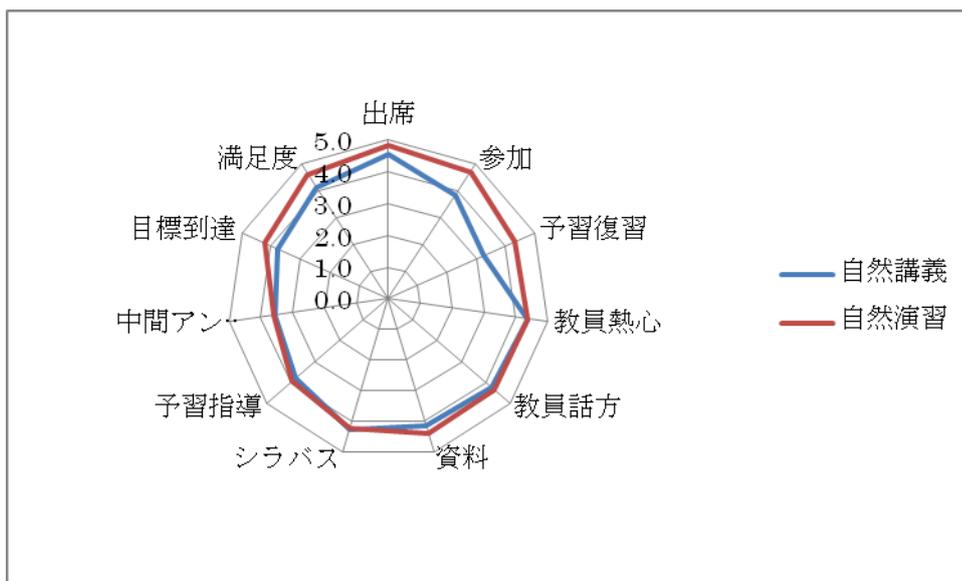
演習科目については、2012年度後期中間の集計結果と比較すると、相対的には、すべての項目での改善傾向が確認できる。これは、前期末の集計結果と比較しても同様の結果が見て取れる。各教員の授業改善にむけた努力の結果と推察される。また、絶対的数値としても、中間アンケート反映⑨を除くすべての項目で4.0以上の数値がでており、これは非常に良好な結果と評価できる。まさに、少人数教育の成果が確認できるところである。

他方で、講義科目でも、後期中間の集計結果と比較すると、出席①、参加意欲②、教員話方⑤以外の項目で改善傾向が確認できる。また、前期末の集計結果と比較しても同様の結果が見て取れる。ここで、講義科目に関しては、学生の授業への取組姿勢を如何に改善するかが今後の課題となる。まさに、学生を如何に学びに向かわせるか、その動機付けが重要と考えられ、同時にかかる文脈と併行して、予習復習③が低調である点に関して、担当教員には、学生の時間外学習量の確保に向けた取組が要請されよう。



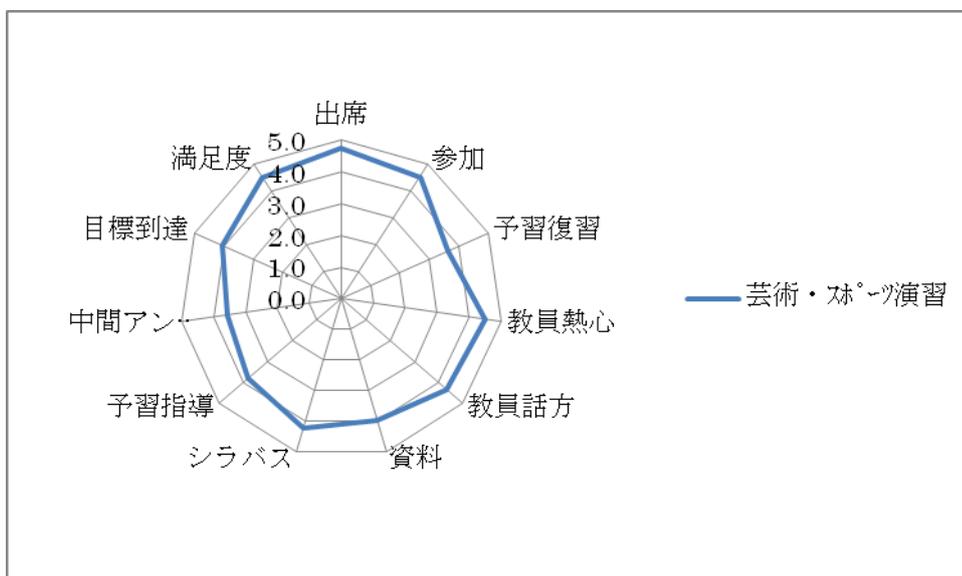
[自然科学群]

自然科学科目においては、講義科目の評価項目間のポイントの差が大きいことが目立つ結果となっている。とくに、予習復習③に関するポイントが低いですが、教員の熱心④さや学生の出席率①のポイントが高いことを考えると、授業中の時間外学習の指導に改善の余地があるありそうである。演習科目では、中間アンケート結果の反映⑨を除く多くの項目において良好な結果となっている。とくに満足度⑩に関するポイントが平均 4.6 という高い結果となっている。



[芸術・スポーツ群]

芸術・スポーツ群には、大きく性格が異なる 2 種類の授業が含まれているが、いずれの授業のグループにおいても平均的なポイントの値は高い。とくにスポーツ系科目における満足度⑩のポイントの高さが顕著であり、学生の出席①や参加の熱心さ②に関するポイントも高い。教員の努力がうかがわれる結果となっている。

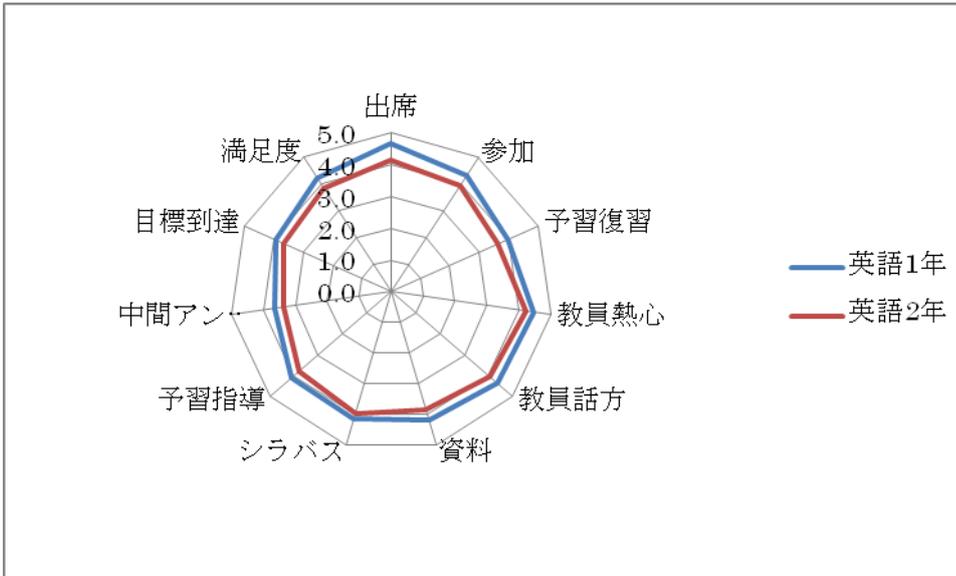


3. 外国語科目

[英語]

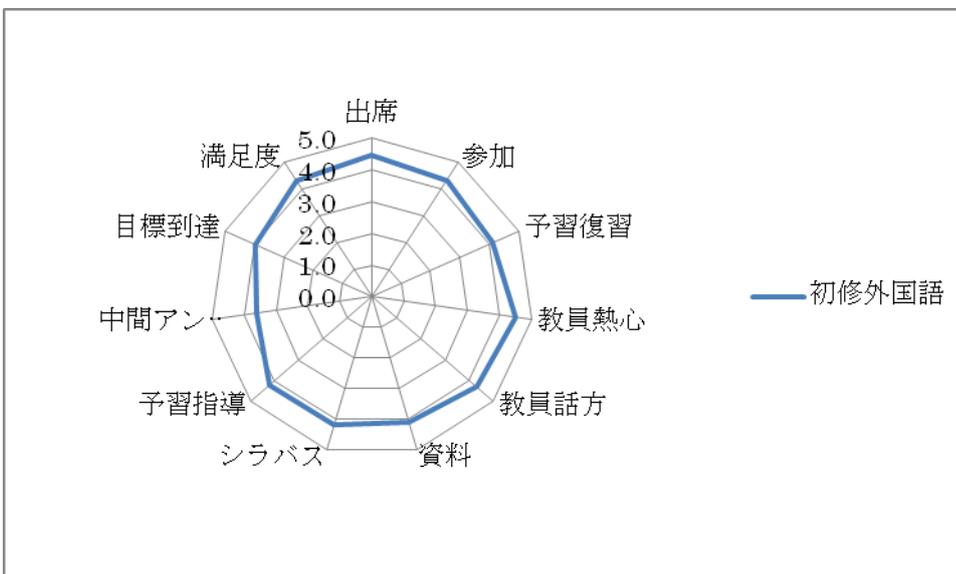
英語1年次においては、【学生自身の取り組み】，そして【教員および授業への評価】も高い。その結果，英語科目(英語1年次)への満足度⑩も高い(満足度：4.2点)。

対して，英語2年次では，英語1年次と比してすべての項目において下回っている。英語2年次では，受講者自身が明確な目標，動機づけを得られず，自主的な学習に苦勞していることが窺える。結果として，英語2年次では，当該科目への満足度⑩が低い(3.9点)。英語2年次への授業のあり方や指導方法等を重点的に検討するべきであろう。



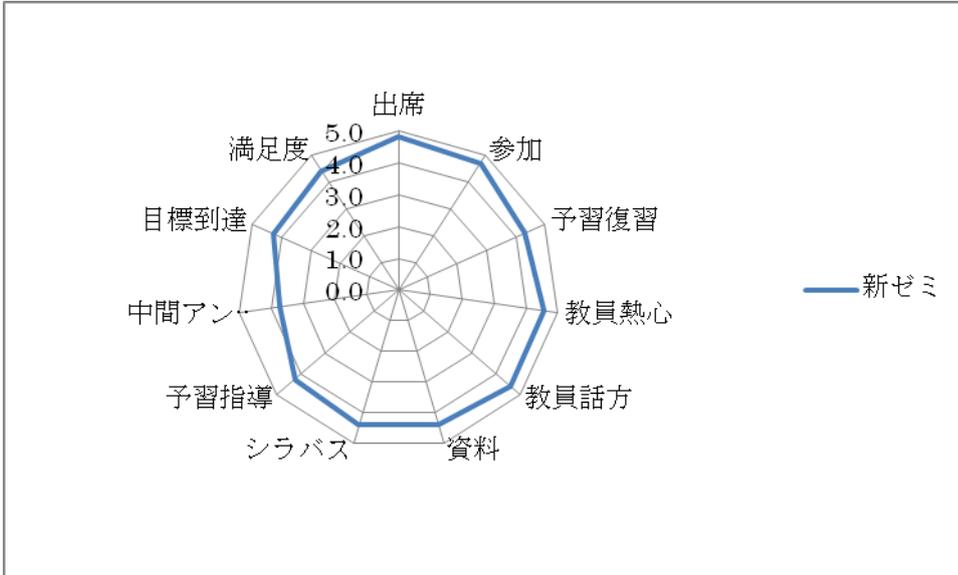
[初修外国語]

「出席率」①4.4 は平均並みであるが良い数字であると言えるであろう。「授業への参加」②4.3 も特に問題のある数字ではない。「予習復習」③4.1 は，他科目と比較すると低くはないが，外国語という予習復習が毎授業必須要素である科目にしては，少し低いと言える。教員への評価項目では，「中間アンケートの反映」⑨以外は4以上で，良好と言える。⑨に関しては，多くの科目同様3代である。低い数字が必ずしも低い評価というふうには解釈できないところがあると思われる。



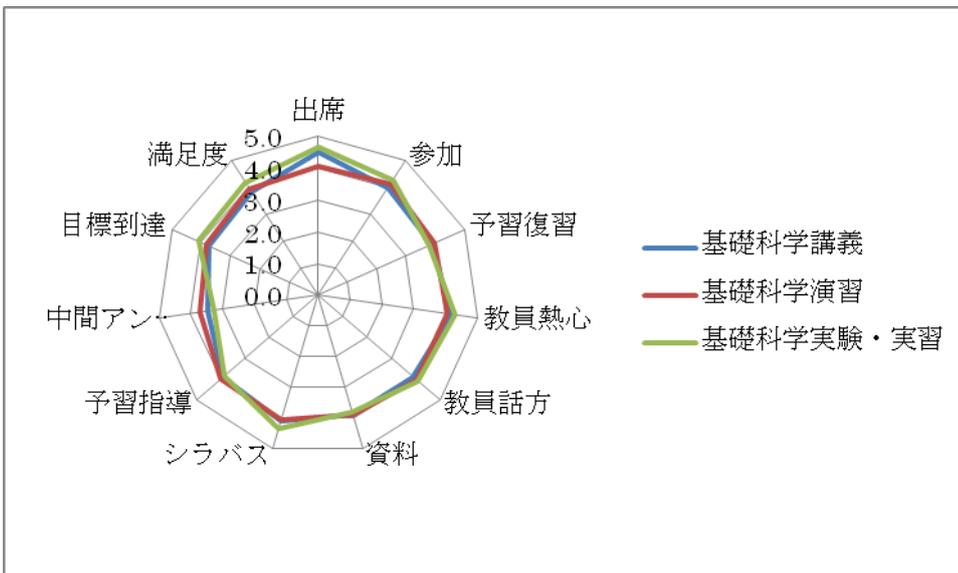
4. 新入生ゼミナール科目

新入生ゼミナール科目は、学部、学科、学系などにより、それぞれ独自の内容、形態で実施されている科目であるが、すべてのアンケート項目で比較的高い数値が得られている（「中間アンケート」⑨の数値が若干低いのは設問の性格によるものと思われる）。前期のアンケートにおいてもおおむね良好な結果が得られていたが、後期期末アンケートではその数値がさらに全体的に上昇している。



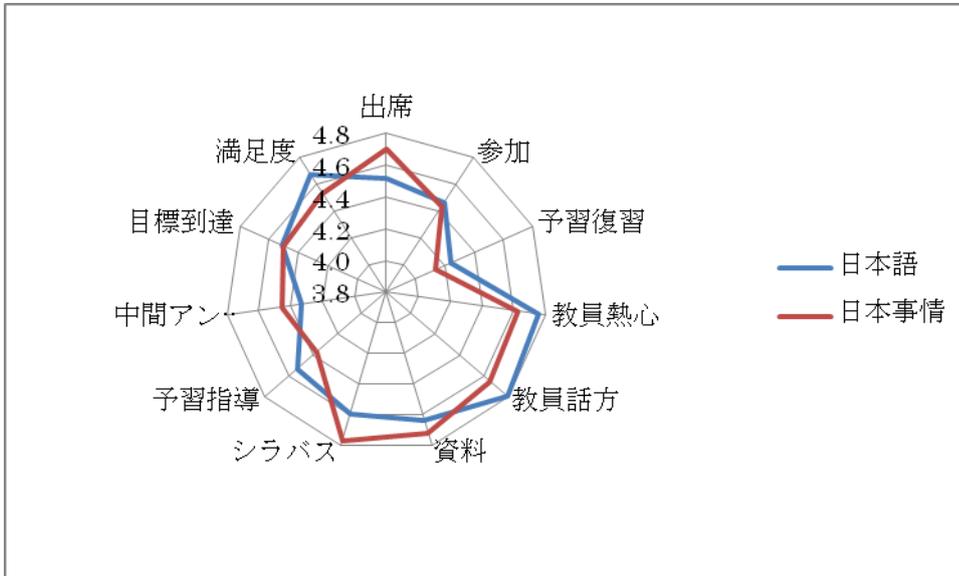
5. 基礎科学科目

基礎科学科目の講義は、他の講義と比べて「予習復習」③が高い値を示している一方、「目標到達」⑩「満足度」⑪が全講義平均を下回っている。教員側の項目としては、「教員熱心」④「教員話方」⑤「資料」⑥などがやや低く評価されている。これらの結果は、今年度前期とほぼ変わっていない。演習と実験・実習は開講数が少ないが、講義とおおむね同様の傾向を示している。達成感（「目標到達」⑩），充足感（「満足度」⑪）は講義形式の授業よりも高いようである。演習は「出席」①が低調である。



6. 日本語・日本事情科目

すべての設問で4以上の数字で、満足度⑩も、日本語4.7、日本事情4.5と高い数字である。ただし、受講生の多くが信州大正規学生ではなくて、交換留学生であることに注意すべきであろう。



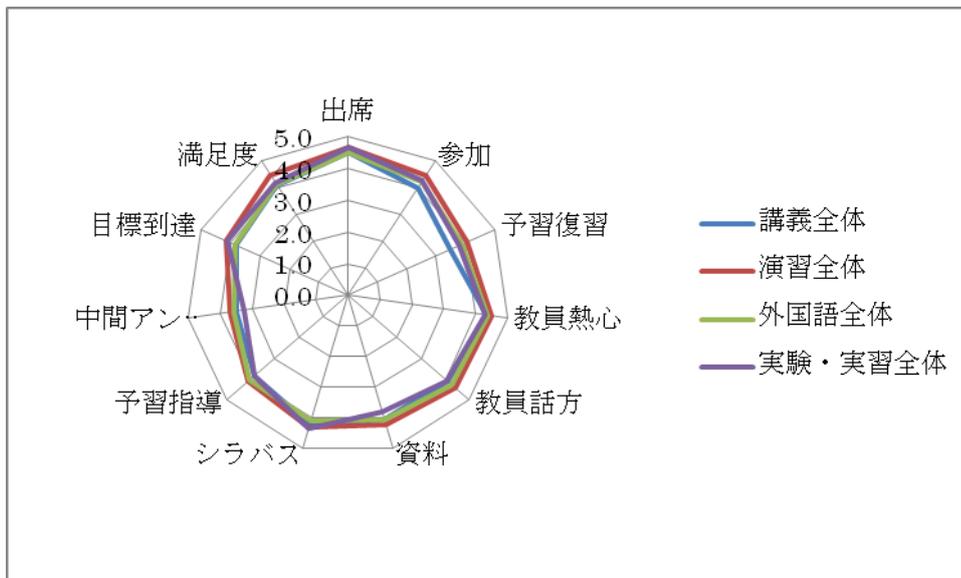
7. まとめ

2012年度で4回行った授業改善アンケート調査（前期中間，前期期末，後期中間，後期期末）の回答率（%）は，次のような変遷を示した。講義科目：60-41-37-32，演習科目：65-45-37-34，外国語科目：49-36-28-28，実験・実習科目：37-23-26-23 調査のマンネリ化による数字減少を示していると言えるのではないか。

各科目群で良好な数字が出ているが，中間アンケートの結果の授業への反映⑨の数字が各科目において低い。その理由としては，そもそも対応できない，あるいは，不適當な要望もあり，そのような要望は当然授業に反映されないや，元々，授業に満足しておれば，⑨への数字は低くなるなどが考えられる。

授業改善のために行われている，部門から提出された努力，試み，実施事例を述べる。シラバスに記載されている授業目標への到達指導を授業中に適宜説明している。配布資料を改善することにより，より学生の期待に添える授業にする。授業の進行が早いという意見に対し，未履修授業に関しては予定の講義内容を一部割愛するなどの進捗調整を行った。授業外で行われている資格試験や実力テストなどに対応できる内容を授業に取り入れている。

次のような問題点も指摘された。キャンパス情報システムおよびeALPSが，学生にとって利用環境がばらばらであるのをどうにかする必要がある。スポーツ実習での予習指導⑧が，その実習形式のために低い数字になっている。授業改善に向けては教員同士の話し合い，意見交換をさらに進める必要があるのではないか。



共通教育科目 2012年度後期【中間】授業改善アンケート平均値一覧

		受講登録者数	回答者数	回答率	出席	参加	予習復習	教員熱心	教員話方	資料	シラバス	予習指導
環境	講義	1696	604	36%	4.6	4.0	3.1	4.4	4.2	4.2	4.2	3.7
	演習	36	20	56%	4.9	4.6	4.4	4.6	4.6	4.3	4.5	4.0
人文	講義	1573	523	33%	4.7	4.0	3.2	4.3	3.8	3.8	4.1	3.6
	演習	191	58	30%	4.6	4.4	3.9	4.3	4.2	4.0	4.1	4.0
社会	講義	2579	1028	40%	4.7	4.2	3.3	4.5	4.3	4.2	4.3	3.8
	演習	117	49	42%	4.6	4.4	4.0	4.5	4.4	4.1	4.2	4.2
自然	講義	2801	1137	41%	4.7	3.9	3.1	4.4	4.2	4.2	4.2	3.7
	演習	153	65	42%	4.8	4.6	4.2	4.6	4.4	4.4	4.3	4.1
芸術・スポーツ	演習	307	94	31%	4.7	4.6	3.6	4.6	4.4	4.1	4.3	3.7
英語1年	外国語	4114	1422	35%	4.7	4.3	4.0	4.5	4.3	4.1	4.1	4.0
英語2年	外国語	1834	214	12%	4.4	3.9	3.6	4.2	4.0	3.9	3.9	3.8
初修外国語	外国語	630	229	36%	4.5	4.3	4.0	4.5	4.3	4.1	4.2	4.2
新ゼミ	演習	205	47	23%	4.7	4.4	4.1	4.3	4.4	4.1	4.1	4.1
基礎科学科目	講義	3973	1225	31%	4.7	4.1	3.8	4.2	3.9	3.9	4.1	3.8
	演習	69	46	67%	4.5	4.2	4.0	4.5	4.3	4.0	4.3	4.2
	実験・実習	310	82	26%	4.7	4.2	3.5	4.3	4.1	3.8	4.3	3.8
日本語・日本事情	日本事情	64	40	63%	4.9	4.5	4.0	4.6	4.6	4.7	4.7	4.3
	日本語	66	44	67%	4.7	4.4	4.2	4.8	4.6	4.7	4.5	4.6
共通教育科目全体	講義	12872	4711	37%	4.7	4.1	3.3	4.4	4.1	4.1	4.2	3.7
	演習	1144	423	37%	4.7	4.5	4.0	4.5	4.4	4.2	4.3	4.1
	外国語	6578	1865	28%	4.7	4.2	3.9	4.4	4.3	4.1	4.1	4.0
	実験・実習	310	82	26%	4.7	4.2	3.5	4.3	4.1	3.8	4.3	3.8

※ 共通教育全体(講義)には、アンケート実施対象外の教職科目で任意にアンケート実施された講義の人数も含まれています。

共通教育科目 2012年度後期【期末】授業改善アンケート平均値一覧

		実施回数	回答者数	回答率	出席	参加	予習復習	教員熱心	教員話方	資料	シラバス	予習指導	中間アンケート実施	目標到達	満足度
環境	講義	1696	542	32%	4.5	4.0	3.5	4.4	4.2	4.2	4.3	3.9	3.5	3.9	4.1
	演習	36	18	50%	4.7	4.6	4.3	4.7	4.5	3.8	3.7	3.8	3.4	4.1	4.6
人文	講義	1573	393	25%	4.5	3.9	3.3	4.3	3.9	3.7	4.0	3.6	3.3	3.7	4.0
	演習	182	51	28%	4.5	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	3.3	4.0	4.3
社会	講義	2404	816	34%	4.5	4.1	3.5	4.5	4.2	4.2	4.3	3.8	3.5	3.9	4.3
	演習	117	45	38%	4.7	4.5	4.3	4.5	4.4	4.3	4.4	4.4	3.9	4.2	4.5
自然	講義	2813	1013	36%	4.5	3.9	3.3	4.4	4.2	4.1	4.2	3.8	3.6	3.8	4.2
	演習	138	48	35%	4.8	4.7	4.3	4.4	4.4	4.4	4.2	3.9	3.6	4.2	4.6
芸術・スポーツ	演習	307	95	31%	4.7	4.5	3.6	4.5	4.3	4.0	4.2	3.8	3.6	4.1	4.5
1年	外国語	4114	1182	29%	4.6	4.3	4.0	4.5	4.4	4.2	4.1	4.1	3.7	3.9	4.2
2年	外国語	1977	513	26%	4.1	4.0	3.6	4.2	4.0	3.8	4.0	3.8	3.4	3.7	3.9
初修	外国語	652	208	32%	4.4	4.3	4.1	4.5	4.3	4.1	4.2	4.2	3.6	4.0	4.3
新ゼミ	演習	205	48	23%	4.8	4.7	4.3	4.5	4.6	4.4	4.4	4.3	3.7	4.3	4.4
日本語・ 日本事情	日本語	66	49	74%	4.5	4.5	4.2	4.8	4.8	4.6	4.6	4.5	4.3	4.5	4.7
	日本事情	64	43	67%	4.7	4.4	4.1	4.6	4.7	4.7	4.8	4.4	4.5	4.5	4.5
基礎科学 科目	講義	3999	1068	27%	4.5	4.0	3.9	4.2	3.9	3.9	4.1	3.9	3.5	3.7	3.8
	演習	69	22	32%	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.7	3.8	4.0
	実験・実習	310	71	23%	4.7	4.3	3.8	4.3	4.1	3.8	4.3	3.8	3.3	4.1	4.2
共通教育 全体	講義	12735	4026	32%	4.5	4.0	3.5	4.3	4.1	4.1	4.2	3.8	3.5	3.8	4.1
	演習	1120	376	34%	4.6	4.5	4.1	4.5	4.4	4.2	4.3	4.1	3.7	4.2	4.5
	外国語	6743	1903	28%	4.5	4.2	3.9	4.4	4.3	4.1	4.1	4.0	3.6	3.9	4.1
	実験・実習	310	71	23%	4.7	4.3	3.8	4.3	4.1	3.8	4.3	3.8	3.3	4.1	4.2

※ 共通教育全体(講義)には、アンケート実施対象外の教職科目で任意にアンケート実施された講義の人数も含まれています。